符 笛 協 力 条 約

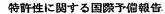
PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

REC'D 2 1 OCT 2004

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

(10100 \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$	ADK(110)			
出願人又は代理人 の沓類記号 . A 3 5 1 3 7 H.	今後の手続きについ	、ては、様式PCT/	IPEA/41	6を参照すること。
国際出題番号 PCT/JP03/13770	国際出願日 (日.月.年) 28	. 10. 2003	優先日 (日.月.年)	29. 10. 2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl.7 C03C	3/087, C03C21/00, C0	3C17/34, G11B5/73, G1	1B5/851	
出願人 (氏名又は名称) HOYA株式会社				;
				
1. この報告書は、PCT35条に基づ: 法施行規則第57条(PCT36条)の			予備審査報告では	5 5.
2. この国際予備審査報告は、この表紙	を含めて全部で	3	ジからなる。	
3. この報告には次の附属物件も添付される M M M M M M M M M M M M M M M M M M M	れている。 べージであ	5.		
補正されて、この報告の基礎 囲及び/又は図面の用紙(を含む明細魯、請求の範
第 I 欄 4. 及び補充欄に示 国際予備審査機関が認定し		こおける国際出願の 開 ,	示の範囲を超えて	た補正を含むものとこの
b ■ 電子媒体は全部で 配列表に関する補充概に示す。 ブルを含む。(実施細則第8		タ読み取り可能な形式		は本の種類、数を示す)。 は配列表に関連するテー
4. この国際予備審査報告は、次の内容	を含む。			
※ 第 I 柳 国際予備審查報第 I 柳 優先権 第 I 柳 新規性、進歩性	•	「能性についての国際	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5作成
	2)に規定する新規性	、進歩性又は産業上の)利用可能性につい	いての見解、それを裏付
けるための文献	C献	·		
第四欄 国際出願に対す				
国際予備審査の請求書を受理した日 05.03.2004	_	国際予備審査報告を 2	全作成した日 で、09.200	4
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP))	特許庁審査官(権限	艮のある職員)	4T 3234
郵便番号100-8915 東京都千代田区設が関三丁目4:		村守	宏文	
				1 内線 3416



国際出願番号 PCT/JP03/13770

第I棡 報告の基礎	
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか	、国際出願の官語を基礎とした。
□ この報告は、	る。 E (PCT14条) の規定に基づく命令に応答するために提出され
た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この	報告に添付していない。)
× 出願時の国際出願事類	
明細告 ページ、 第 ページ*、 第 ページ*、	
	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの
□ 図面 第	
配列表に関する補充欄を参照すること。	•
3. 補正により、下記の登類が削除された。	
□ 明細な 第 □ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に配載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載す	ページ 項 ページ/図 すること)
	こ添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超されなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
□ 明細書 第 □ 請求の範囲 第 □ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること) □ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載	ページ 項 ページ/図 すること)
* 4. に該当する場合、その用紙に"superseded"と甑	3入されることがある。



特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP03/13770

見解	,			•	·	
			•			
(4.7)	請求の範囲				· ·	—— 着
	請求の範囲	1-16			<u> </u>	#
	・請求の範囲					;
	請求の範囲	1-16				;
						•
産業上の利用可能性 (I'A)	請求の範囲 請求の範囲	1 - 16				⁷

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献 1: US 5900296 A(AG TECHNOLOGY CO., LTD) 1999.05.04 文献 2: US 5780371 A(SAINT-GOBAIN VITRAGE S.A.) 1998.07.14

文献 3 : US 6114039 A (SAINT-GOBAIN VITRAGE) 2000.09.05

請求の範囲1-16

新規性無し

で文献1-3にはそれぞれ、本願組成範囲と重複する組成を有する化学強化処理されたガラス基板、及び当該基板を用いた情報記録媒体が記載されている。 なお、ガラス転移温度、ヤング率、特定温度での熱処理後の曲げ強度等の物性値について明示はなくとも、物質として区別できないことから、同様の物性 値をもつものと解される。